

新春のご挨拶



西尾労働基準協会
会長 二宮英樹

新年明けましておめでとうございます。
年頭にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

旧年中は当協会の事業運営に格別のご理解と
ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、一月にはトランプ大統領が返り咲き、世界各国に相互関税を課したことで世界経済が大混乱しました。国内では四月に大阪・関西万博が開幕し、当初は建設の遅れや費用高騰など様々な懸念が指摘されましたが、最終的には成功裏に幕を閉じました。また十月には、我が国初の女性総理大臣が誕生し、高市内閣が発足するなど、政治の大きな転換点にもなりました。

当協会の昨年度の取り組みとしては、前年に引き続き「化学物質のリスクアセスメントとその自律的管理」の義務化の周知、および業種別の進め方の支援に前半は重点的に取り組みました。後半では、「安全経営あいち」への賛同率向上を指標とし、リスクアセスメントの無料セミナー開催、安全相互確認会などの活動を積極的に進めております。

◦

義務化された法令に自社単独で対応することは難しく、膨大な工数がかかる為、半ば諦めていた企業も少なくありません。そうした中、当協会が会員の皆様と共同で作成した「行政の考え方と業種別の進め方をわかりやすく解説した事例集」に沿って取り組んだ結果、短期間で形を整えることができたとの声を多く頂戴し当協会としても大変心強く感じております。こうした取り組みの成果もあり、西尾管内の「安全経営あいち」への賛同率は早々に50%を超え、県下トップとなりました。また、相互確認会で訪問した事業所は累計78社に達しております。

しかしながら、西尾管内では2022年から維持してきた死亡災害ゼロが、本年9月に残念ながら1件発生し記録が途切れる結果となりました。被災された方とご家族の皆様に、謹んでお悔やみを申し上げます。その後11月には緊急集会を開催し、会員企業100社が参加、改めてリスクアセスメントの重要性を共有いたしました。

今後も岡崎労働基準監督署西尾支署様のご支援をいただきながら、安全法令に関する研修会や講演会など、年度計画に基づいた事業を着実に推進してまいります。

最後になりますが、西尾市内すべての事業所の皆様の益々のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。